

NYマーケットレポート（2014年12月11日）

NY市場では、序盤に発表された米11月の小売売上高が2ヵ月連続のプラスとなり、今年3月以来8ヵ月ぶりの大きな伸び率となったことや、米失業保険申請件数が2週連続のマイナスとなったことから、ドル買い・円売りが優勢となった。また、米株価が大きく上昇する動きとなったことから、投資家のリスク志向の動きも強まり、ドル円・クロス円は一段の上昇となった。しかし、終盤には、原油価格が2007年7月以来の60ドル割れとなったことなどを材料に、株価が上げ幅を大きく縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円も一段の下げとなった。

2014/12/11 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	117.95	118.38	117.45
EUR/JPY	147.24	147.34	146.42
GBP/JPY	185.43	185.98	184.99
AUD/JPY	98.27	98.69	97.89
EUR/USD	1.2487	1.2496	1.2431

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	118.89	117.95
EUR/JPY	147.85	146.97
GBP/JPY	186.13	184.22
AUD/JPY	98.35	97.90
EUR/USD	1.2487	1.2414

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	17257.40	-155.18
ハンセン指数	23312.54	-211.98
上海総合	2925.74	-14.26
韓国総合指数	1916.59	-28.97
豪ASX200	5230.97	-28.03
インドSENSEX指数	27602.01	-229.09
シンガポールST指数	3318.70	-7.11

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6461.70	-38.34
仏CAC40	4225.86	+62.80
独DAX	9862.53	+62.80
ST欧州600	339.31	-0.01
西IBEX35指数	10431.80	+34.90
伊FTSE MIB指数	19201.07	-16.62
南ア 全株指数	48110.52	-634.91

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	118.94	119.56	118.36
EUR/JPY	147.44	148.05	147.14
GBP/JPY	187.00	187.76	185.61
AUD/JPY	98.28	98.78	97.45
NZD/JPY	92.80	93.29	92.41
EUR/USD	1.2396	1.2441	1.2370
AUD/USD	0.8262	0.8281	0.8214

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	17596.34	+63.19
S&P500	2035.33	+9.19
NASDAQ	4708.16	+24.13
その他主要株	終値	前日比
トロント総合	13905.12	+52.17
ボルサ指数	41714.57	+341.91
ボベスパ指数	49861.81	+313.73

12/12 経済指標スケジュール

09:00	[NZ]12月ANZ消費者信頼感指数
13:30	[日]10月稼働率指数
13:30	[日]10月鉱工業生産
14:30	[中]11月鉱工業生産
14:30	[中]11月固定資産投資
14:30	[中]11月小売売上高
16:45	[仏]10月経常収支
19:00	[欧]10月鉱工業生産
22:30	[米]11月生産者物価指数
22:30	[カナダ]11月住宅価格指数
23:00	[メキシコ]10月鉱工業生産
23:55	[米]12月ミシガン大学消費者信頼感指数

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1225.60	-3.80
NY 原油	59.95	-0.99
CMEコーン	398.50	+4.75
CBOT 大豆	1042.25	+10.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.61%	0.57%
3年債	1.05%	1.01%
5年債	1.61%	1.56%
7年債	1.94%	1.91%
10年債	2.18%	2.16%
30年債	2.82%	2.83%

12/12 主要会議・講演・その他予定

--

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

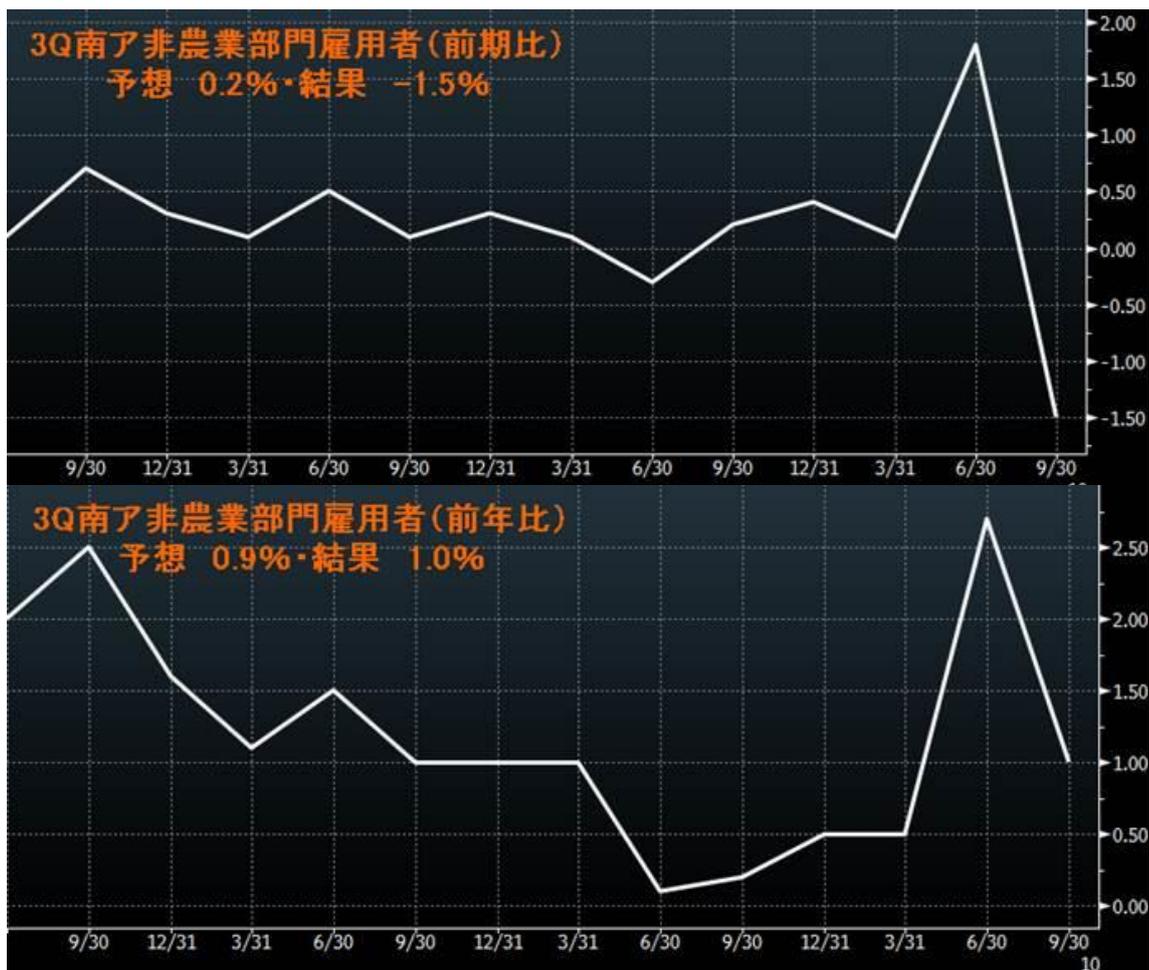
欧州タイム

21 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

3Q 南ア非農業部門雇用者 (前期比) -1.5% (予想 0.2%・前回 1.8%)

3Q 南ア非農業部門雇用者 (前年比) 1.0% (予想 0.9%・前回 2.7%)



(出所:ブルームバーグ)

22:00

ドル/円 118.56 ユーロ/円 147.38 ユーロ/ドル 1.2433

22:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6447.77	-52.27	ダウ INDEX FUTURE	17595	+53
仏 CAC40	4212.76	-15.15	S&P500 FUTURE	2034.10	+7.70
独 DAX	9801.41	+1.68	NASDAQ FUTURE	4236.75	+9.75

(出所: SBILM)

22:00

スティーブンス豪中銀総裁がインタビューで、「1年前、1豪ドル=0.85米ドルは0.95米ドルよりましかもしれないと発言した。今、水準を挙げねばならないなら0.85米ドルより0.75米ドルがましだと言うだろう」などと発言したとの報道を受けて豪ドルが下落。



(出所: ネットダニアー)

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 29.4 万件 (予想 29.7 万件・前回 29.7 万件)

失業保険継続受給者数 251.4 万人 (予想 234.4 万人・前回 237.2 万人)
 前回発表の 236.2 万人から 237.2 万人に修正



(出所:ブルームバーグ)

経済指標データ

◀ 新規失業保険申請件数・継続受給者数 ▶

	申請件数	前週比	4 週移動平均	受給者数	受給者比率
14/12/06	294,000	-3,000	299,250	*****	*****
14/11/29	297,000	-17,000	299,000	2,514,000	1.9%
14/11/22	314,000	+22,000	294,250	2,372,000	1.8%
14/11/15	292,000	-1,000	287,750	2,323,000	1.8%
14/11/08	293,000	+15,000	285,750	2,333,000	1.8%
14/11/01	278,000	-10,000	279,000	2,403,000	1.8%
14/10/25	288,000	+4,000	281,250	2,356,000	1.8%
14/10/18	284,000	+18,000	281,250	2,387,000	1.8%
14/10/11	266,000	-21,000	284,000	2,355,000	1.8%
14/10/04	287,000	-1,000	287,750	2,389,000	1.8%

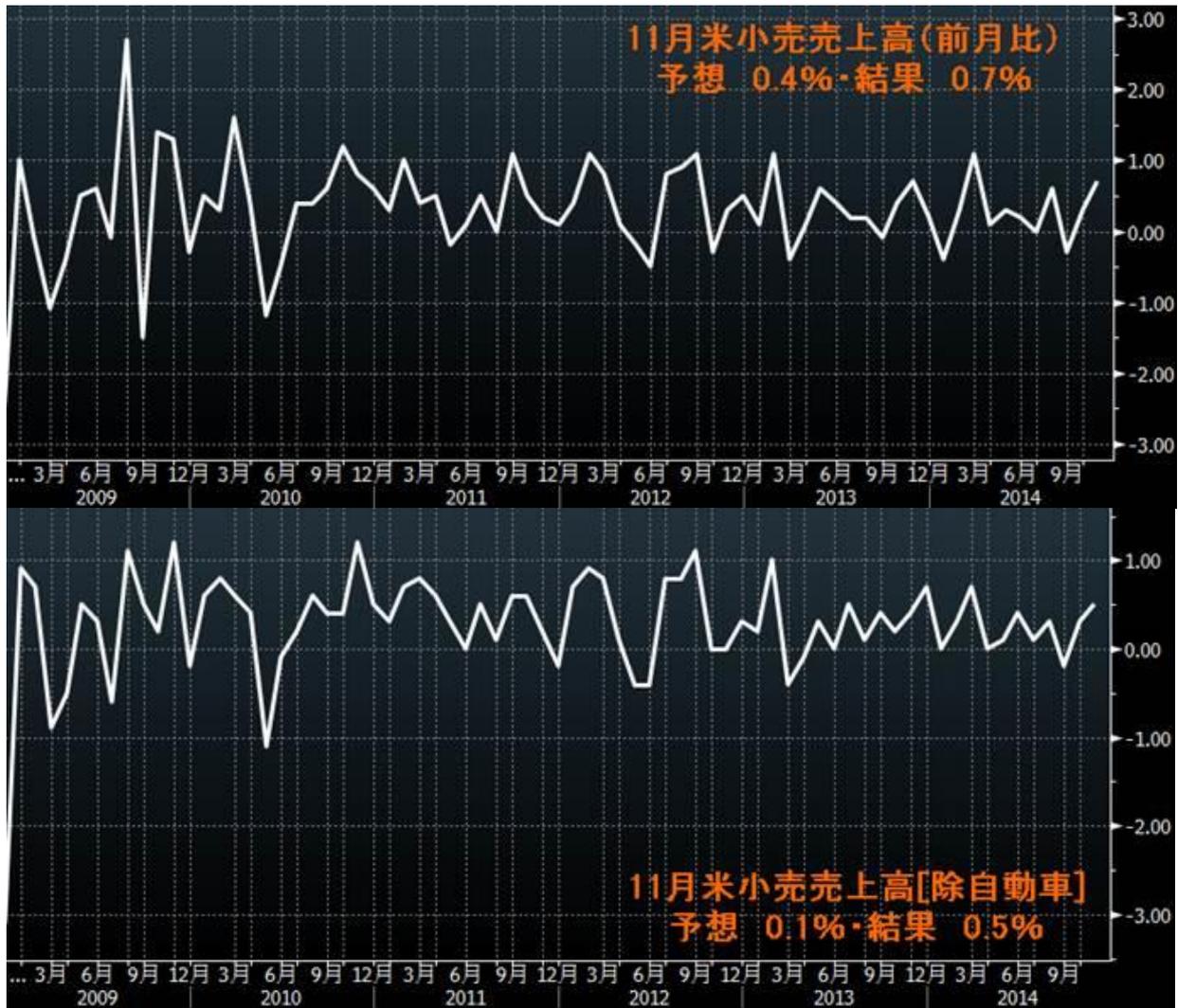
受給者数は集計が 1 週間遅れる

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米小売売上高(前月比) 0.7% (予想 0.4%・前回 0.5%)
 前回発表の0.3%から0.5%に修正

11月米小売売上高[除自動車] 0.5% (予想 0.1%・前回 0.4%)
 前回発表の0.3%から0.4%に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ 米小売売上高 ▶

	11月	10月	9月	8月	7月	6月	前年同月
小売売上高	0.7	0.5	-0.1	0.6	0.3	0.4	3.4
除く自動車	0.5	0.4	0.1	0.3	0.2	0.5	2.9
自動車・部品	1.7	0.8	-0.7	1.8	0.7	0.0	8.6
建設資材等	1.4	0.4	-0.2	0.7	-1.0	1.2	7.8
食品・飲料	0.3	0.2	0.4	0.5	-0.2	1.1	4.1
総合小売店	0.5	0.1	-0.2	0.2	0.6	0.3	2.6
大規模小売店	1.0	-0.3	-0.7	-0.8	0.6	-0.5	-1.1
その他小売店	-1.7	1.3	-1.0	1.1	0.8	0.8	0.9

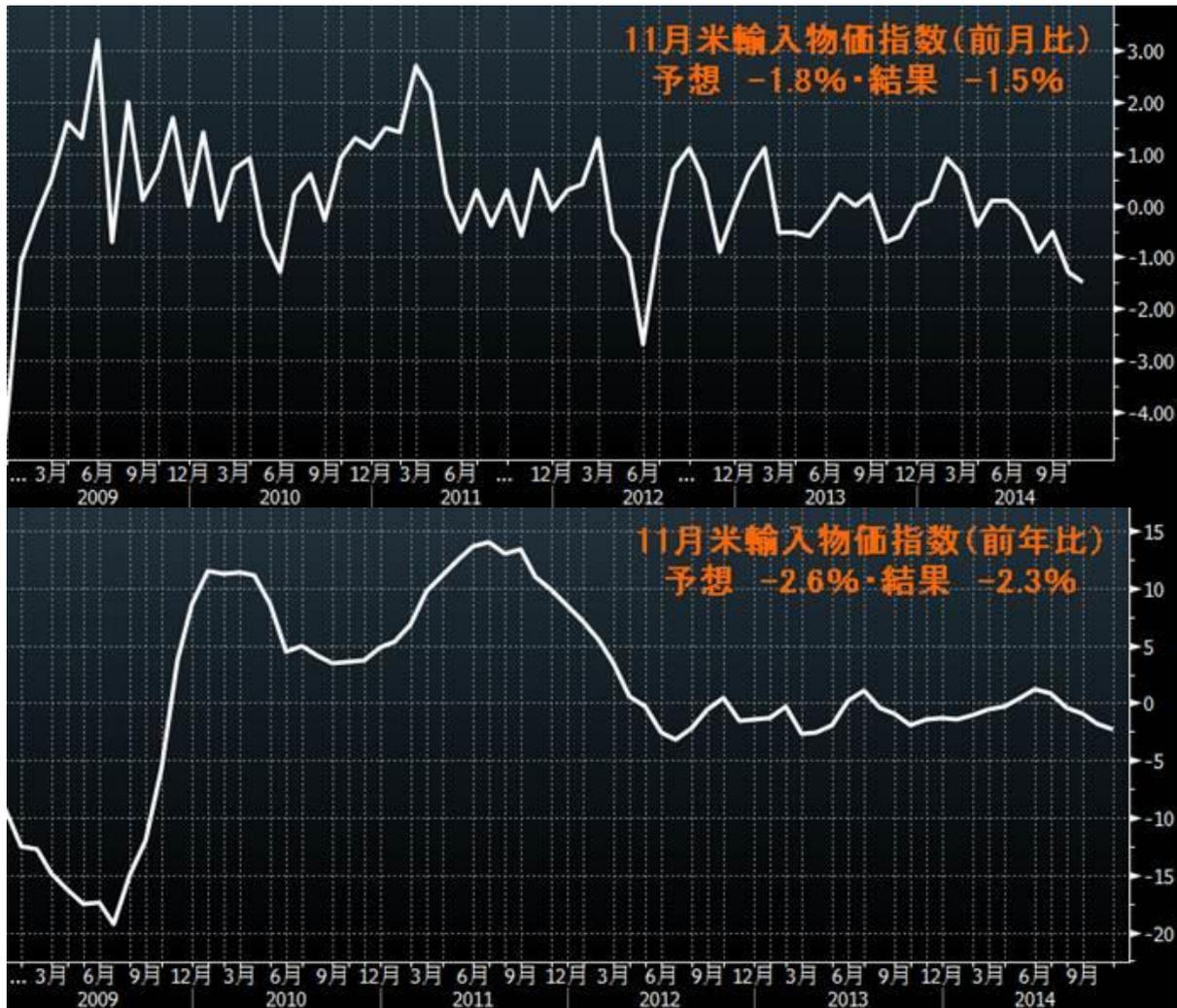
(前月比%)

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

11月米輸入物価指数(前月比) -1.5% (予想 -1.8%・前回 -1.2%)
 前回発表の-1.3%から-1.2%に修正

11月米輸入物価指数(前年比) -2.3% (予想 -2.6%・前回 -1.7%)
 前回発表の-1.8%から-1.7%に修正



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ 米輸出入物価 ▶

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
全輸入	-1.5	-1.2	-0.5	-0.8	-0.3	0.3
石油	-6.9	-6.4	-2.2	-3.6	-1.5	1.7
非石油	-0.3	-0.2	-0.2	-0.1	0.0	-0.2
食品・飲料等	-0.4	1.1	0.1	0.7	1.1	-1.6
資本財	-0.1	-0.1	-0.1	0.0	0.0	0.1
自動車・部品	-0.1	-0.2	-0.2	0.1	-0.6	0.0
消費財	-0.1	-0.2	0.0	0.0	-0.1	0.1

	11月	10月	9月	8月	7月	6月
全輸出	-1.0	-0.9	-0.5	-0.5	0.1	-0.5
農業	0.5	-2.1	-1.6	-3.1	-1.8	-1.9
非農業	-1.2	-0.8	-0.2	-0.2	0.2	-0.3
食品・飲料等	0.5	-2.1	-1.5	-2.8	-1.4	-1.5
資本財	-0.1	-0.2	-0.1	0.1	-0.3	0.1
自動車・部品	0.0	0.2	-0.1	-0.1	0.1	0.1
消費財	-0.3	-0.3	-0.3	0.1	0.3	0.0

22:30

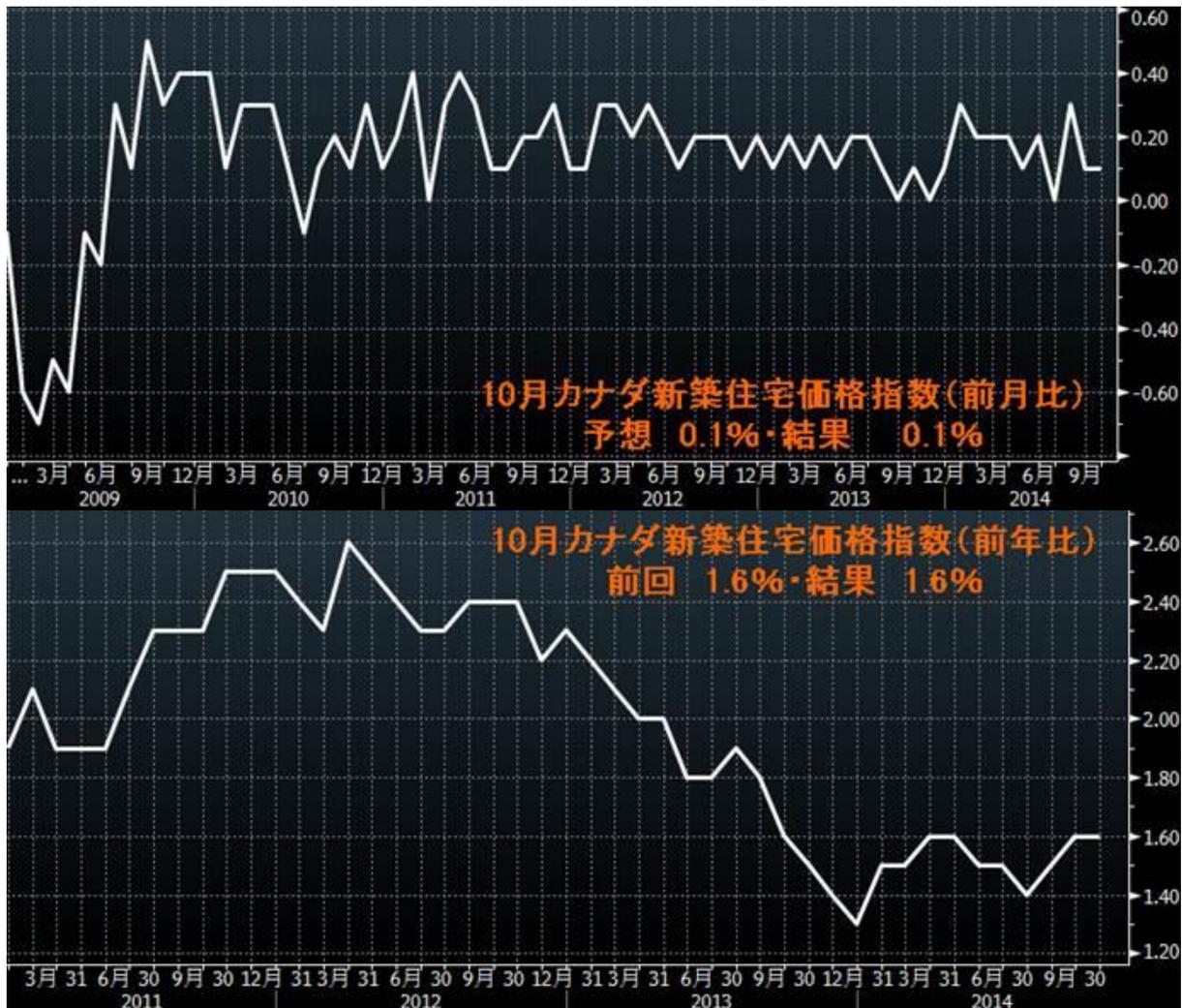
◀ 経済指標の結果 ▶

10月カナダ新築住宅価格指数(前月比) 0.1% (予想 0.1%・前回 0.1%)

10月カナダ新築住宅価格指数(前年比) 1.6% (前回 1.6%)

3Qカナダ設備稼働率 83.4% (予想 83.0%・前回 82.8%)

前回発表の82.7%から82.8%に修正



(出所:ブルームバーグ)

22 : 50

《 要人発言 》

ルー米財務長官

- ・「原油安は経済にとって最終的にプラス」
- ・「米経済は力強さを増している」
- ・「制裁はロシアに極めて強い圧力を与えている」

《 NY 外国為替市場 序盤 》

序盤の外国為替市場は、序盤に発表された 11 月の米小売売上高が堅調な結果となったことから、米景気の先行きに楽観的な見方が広がり、ドル買い・円売りが優勢となった。また、クロス円も堅調な動きとなった。

23 : 33

米主要株価

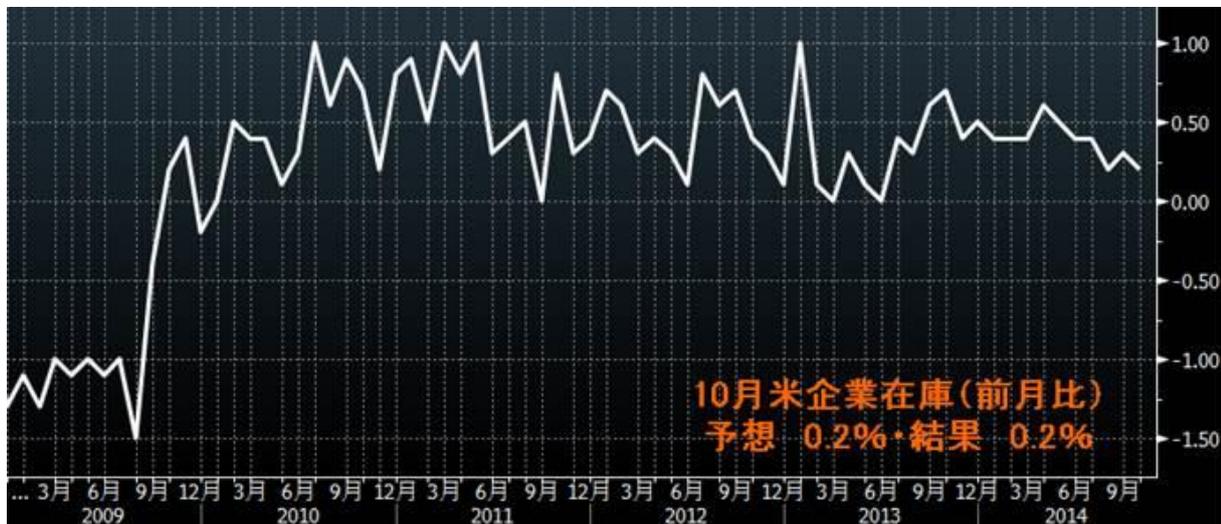
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	17606.81	+73.66
ナスダック	4710.20	+26.17

(出所: SBILM)

0 : 00

《 経済指標の結果 》

10 月米企業在庫 (前月比) 0.2% (予想 0.2%・前回 0.3%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《 米企業在庫 》

	10月	9月	8月	7月	6月	5月	前年同月比
企業在庫	0.2	0.3	0.2	0.4	0.4	0.5	4.8
製造業	0.1	0.2	0.1	0.0	0.2	0.8	3.5
小売業	0.2	0.3	-0.2	0.9	0.7	0.2	4.3
自動車・部品	0.0	0.3	-0.8	2.2	1.5	0.5	6.8
卸売業	0.4	0.4	0.6	0.3	0.2	0.3	6.8

	10月	9月	8月	7月	6月	5月	前年同月比
企業売上	-0.1	0.0	-0.5	0.7	0.6	0.3	3.4
製造業	-0.8	0.1	-1.1	1.4	0.8	-0.1	2.2
小売業	0.4	-0.2	0.6	0.2	0.4	0.4	4.1
卸売業	0.2	0.0	-0.8	0.4	0.4	0.7	4.3

0:30

◀ NY 株式市場 序盤 ▶

序盤の株式市場は、11月の米小売売上高が好調な内容だったことを受けて、主要株価は堅調な動きとなっている。ダウ平均株価は、序盤から堅調な展開が続いており、一時前日比で220ドル高まで上昇する動きとなった。

◀ 経済指標のポイント ▶

(1) 米失業保険申請件数は、前週比0.3万件的29.4万件的となり、2週連続のマイナスとなった。申請件数の4週移動平均は、前週比+250人の29万9250人となった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比+14.2万人の251.4万人と2週連続のプラスとなった。受給者総数の4週移動平均は、前週比+2万7750人の238万5500人となった。また、受給者比率は、前週から0.1ポイント上昇の+1.9%となった。

(2) 米11月の小売売上高は、前月比+0.7%の4492億8200万ドルとなり、2ヵ月連続でプラスとなり、今年3月以来8ヵ月ぶりの大きな伸び率となった。前年同月比では+5.1%となった。自動車・同部品や服飾、食品など幅広い分野でプラスとなり全体を押し上げた。

①品目・業種別では、主力の自動車・同部品が+1.7%、建材・園芸は+1.4%、服飾は+1.2%、ヘルスケアが+0.8%、電子・家電が+0.9%、また外食や総合小売りもプラスとなった。一方でガソリンスタンドは-0.8%となった。

②変動が大きい自動車・同部品を除く売上高は、前月比+0.5%となり、市場予想の+0.1%を上回った。また、前年同月比は+4.3%だった。

③雇用改善を背景に個人消費は緩やかな拡大基調を維持していることや、ガソリンの値下がりや家計に余裕が生まれたことも売り上げを後押し要因となっている。

(3) 米11月の輸入物価指数は、前月比-1.5%となり、5ヵ月連続でマイナスとなった。2012年6月以来2年5ヵ月ぶりの大きな下落率だった。燃料価格の値下がりや主因となった。前年同月比では-2.3%となった。

①石油は、前月比で-6.9%となり、2012年6月以来の低水準となり、前年同月比では-12.3%となった。石油以外の品目は前月比-0.3%となり、前年同月比では+0.1%となった。

②国・地域別では、メキシコを含む中南米は-1.7%と2013年11月以来の大きな下落率、カナダは-2.3%、EUは-0.6%、日本は-0.1%、中国は横ばいだった。

③輸出物価は、前月比-1.0%、前年同月比では-1.9%。前月比で農産物は+0.5%、前年同月比は-3.8%。農産物以外の品目は、前月比で-1.2%、前年同月比では-1.7%となった。

(4) 米10月の企業在庫は、前月比+0.2%の1兆7603億6800万ドル、前年同月比は+4.8%となった。業種別は、製造業が前月比+0.1%、小売業は+0.2%、卸売業は+0.4%。自動車・同部品を除く小売業は+0.3%となった。小売業では、建材・園芸用品+0.7%、食品・飲料は+0.5%、衣料品も+0.7%、家具は-0.7%、総合小売りは-0.5%、自動車・同部品は横ばいとなった。

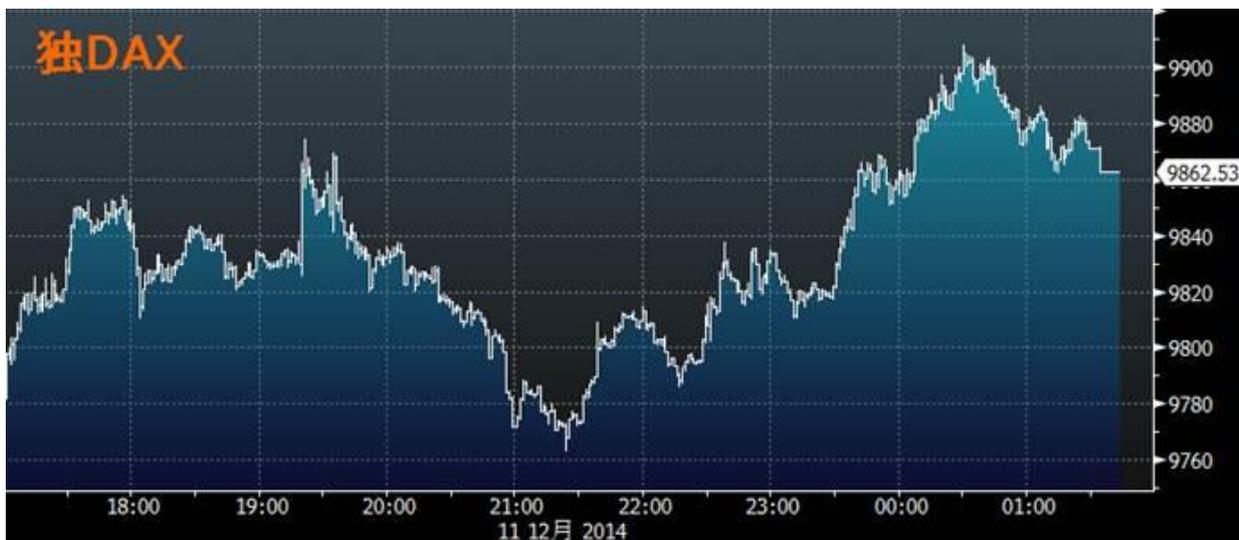
企業売上高は、前月比-0.1%の1兆3508億8200万ドルと今年8月以来の大きな減少率となった。前年同月比では+3.4%。業種別は、製造業が-0.8%、卸売業は+0.2%、小売業は+0.4%となった。また、在庫に対する売上高の比率は前月から横ばいの1.30となった。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6461.70	-38.34
仏 CAC40	4225.86	-2.05
独 DAX	9862.53	+62.80
ストック欧州 600 指数	339.31	-0.01
ユーロファースト 300 指数	1357.43	+0.22
スペイン IBEX35 指数	10431.80	+34.90
イタリア FTSE MIB 指数	19201.07	-16.62
南ア アフリカ全株指数	48110.52	-634.91

(出所: SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 は、中国経済の減速懸念で鉱業株を中心に下落となり、全体が引き下げられた。一方、独 DAX は、米国株が景気の先行き期待で上昇したことを好感して、堅調な動きとなった。



(出所: ブルームバーグ)

2 : 00

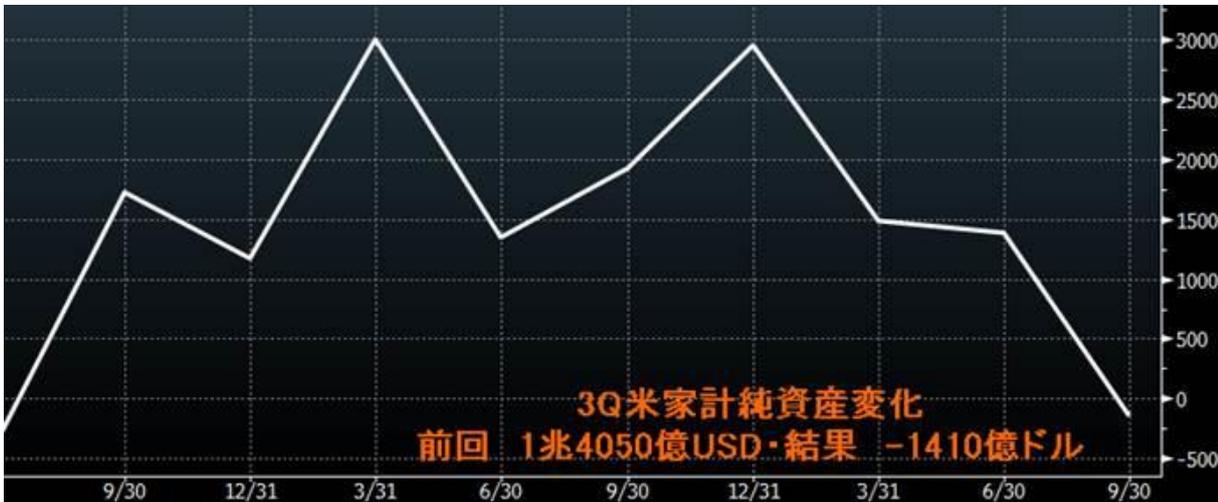
米主要株価・中盤

ダウ 17749.41 (+216.26) 、 S&P500 2052.99 (+26.85) 、 ナスダック 4758.26 (+74.23)

2:00

◀ 経済指標の結果 ▶

3Q 米家計純資産変化 -1410 億ドル (前回 1 兆 4050 億 USD)
 前回発表の 1 兆 3900 億 USD から 1 兆 4050 億 USD



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、11月の米小売売上高が市場の予想以上に増加したことから米国の利上げ前倒しへの警戒感が強まり、売りが先行した。米国株の大幅上昇で、安全資産とされる米国債の逃避買いも後退したことも圧迫要因となった。

午前の利回りは、30年債が2.86% (前日2.84%)、10年債が2.21% (2.17%)、7年債が1.96% (1.92%)、5年債が1.62% (1.57%)、3年債が1.05% (1.01%)、2年債が0.61% (0.57%)。

◀ 欧州のポイント ▶

① ECBの2回目の条件付きTLTRO (長期リファイナンスオペ)の利用額は1300億ユーロ (約19兆2000億円)となり、予想レンジよりも低かった。全面的な量的緩和 (QE)に踏み込む根拠が増した。この結果が現行の刺激措置で十分かどうかの議論をECB内に引き起こすことは必至で、国債などの資産の購入開始が必要かどうか焦点となる。

② 英中銀はMPC (金融政策委員会)の会合開催回数を2016年から年8回に減らす方針を示した。議会で承認されれば、政策決定会合の開催ペースが米FOMCやECBに近づく。また、これまで会合から13日後としていた議事録公開までの時間も短縮し、来年8月から政策発表の際に公表するとし、四半期見通しも同時公表となる。

③ ロシア中銀は、主要政策金利を1.0%引き上げ、10.5%にすると発表した。通貨ルーブルの急落により高まっているインフレ率の抑制が狙い。さらにインフレが進行する場合は、さらに金利を引き上げるという。利上げは11月に続き、今年5回目。ルーブル相場は、1ドル=55ルーブル台を付けて史上最安値を記録した。

④ スイス中銀は、スイスフランの上限として設定している1ユーロ=1.20フランの水準を維持すると発表した。無制限の為替介入を行う用意があることもあらためて表明。必要に応じて追加措置を講じる用意があることを明らかにした。スイスフランのLIBOR (3ヵ月物ロンドン銀行間取引金利)目標レンジは0.00-0.25%に据え置いた。

⑤ ノルウェー中銀は、政策金利を現行の1.50%から0.25%引き下げ1.25%にした。これは2009年以來の低水準。原油安に伴う成長見通しの悪化が理由で、追加利下げの可能性もあることも表明した。市場では、据え置きが予想されていた。中銀は声明で「ノルウェー経済の成長見通しは悪化した」と表明。石油産業の活動が鈍っており、原

油価格の急落がそうした傾向に拍車をかける可能性が高いと指摘した。「経済全体に影響が及ぶ可能性があり、失業率がやや上昇する恐れがある」との見方を示した。

⑥フランス政府は、2016年と2017年の財政赤字の削減目標を修正した。10月にEUの制裁を回避するため提示した36億ユーロの追加措置により、2015年の財政赤字がGDP比4.1%と今年の4.4%を下回り、2016年は3.6%、2017年は2.7%になるという。これまでは、2016年が3.8%、2017年が2.8%としていた。

3:00

《米財務省30年債入札》

最高落札利回り・・・2.848%（前回 3.092%）
 最低落札利回り・・・2.748%（前回 2.950%）
 最高利回り落札比率・・・90.67%（前回 85.89%）
 応札倍率・・・2.76倍（前回 2.29倍）

4:30

NY金は、中心限月が前日比3.80ドル安の1オンス＝1225.60ドルで取引を終了した。

5:30

NY原油は、中心限月が前日比0.99ドル安の1バレル＝59.95引を終了した。

主要商品	終値	前日比
NY GOLD	1225.60	-3.80
NY 原油	59.95	-0.99

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

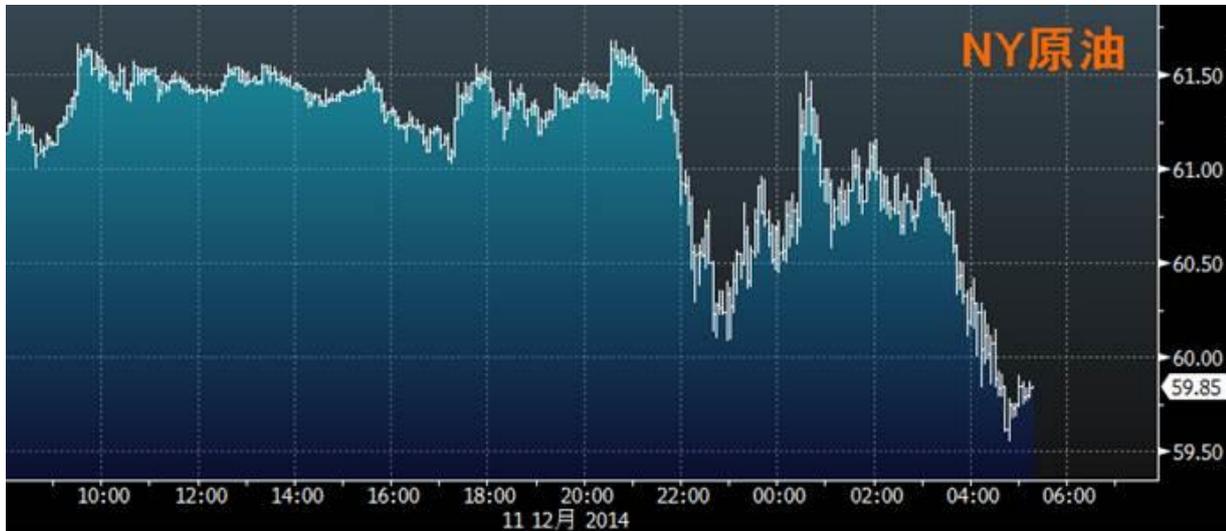
NY金は、11月の米小売売上高や週間失業保険申請数が市場予想より良い内容となったことから、米FRBが利上げを前倒しするとの観測が広がり、金を売る動きが優勢となった。また、ドルが主要通貨に対して上昇したことも、ドルの代替資産とされる金の売りを促した。



(出所:ブルームバーグ)

◀ NY 原油市場 ▶

NY原油は、世界的な供給過剰が今後も続くとの見方から、売りが加速した。しかし、11月の米小売売上高が堅調に伸びたことで、米景気の回復に伴うエネルギー需要の増加期待が高まり、買い戻される場面もあった。ただ、終盤には再び売りが優勢となり、終値ベースで2009年7月以来、約5年5ヵ月ぶりに60ドルを割り込んで引けた。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	17596.34	+63.19	17758.51	17534.30
S&P500種	2035.33	+9.19	2055.53	2027.92
ナスダック	4708.16	+24.13	4759.88	4699.43

(出所:SBILM)

◀ 米株式市場 ▶

米株式市場は、11月の米小売売上高が好調な内容だったことを受けて、主要株価は堅調な動きとなった。しかし、終盤には下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から堅調な展開が続いており、一時前日比で225ドル高まで上昇する動きとなった。しかし、終盤には下げ幅を縮小する動きとなった。



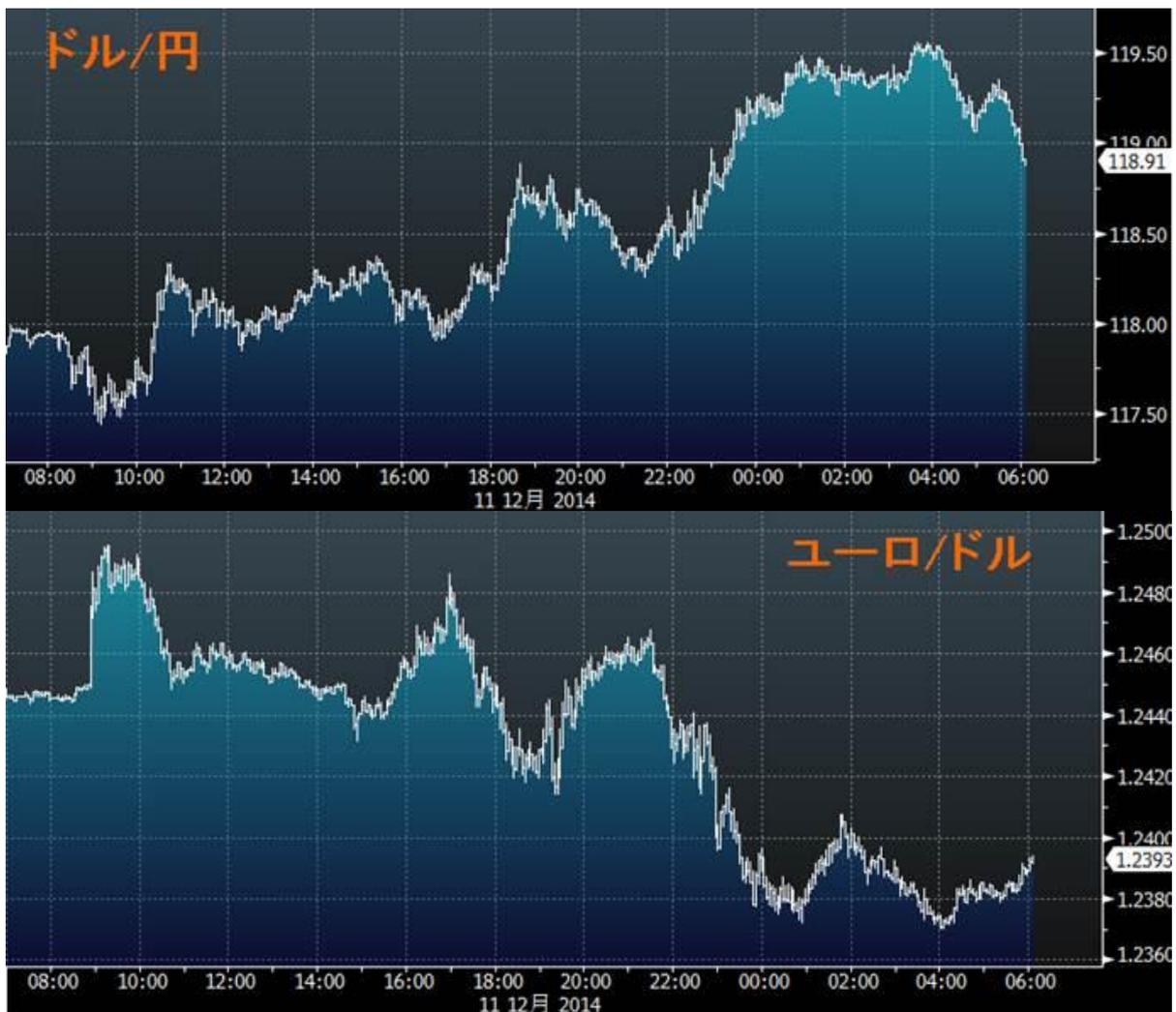
(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	118.94	119.56	118.36
EUR/JPY	147.44	148.05	147.14
GBP/JPY	187.00	187.76	185.61
AUD/JPY	98.28	98.78	97.45
NZD/JPY	92.80	93.29	92.41
EUR/USD	1.2396	1.2441	1.2370
AUD/USD	0.8262	0.8281	0.8214

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤に発表された小売売上高などの米経済指標が市場予想より良好な内容となったことから、投資家のリスク回避の動きが和らぎ、ドル円クロス円は堅調な動きとなった。また、米株価が大きく上昇ことも円売りの要因となった。ただ、終盤には、株価が上げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円は軟調な動きとなる場面もあった。



(出所: ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。